

# 6-2

## ご利用者から学ぶ排泄自立支援の取り組み

### トイレ排泄支援でスタッフが実感したこと

トイレ排泄  
尊厳意識の向上

特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園

発表者：介護課 金子 智	共同研究者：介護課 河村 隼人
所在地：東京都羽村市五ノ神362	共同研究者：介護課 義山 雅浩
TEL：042-555-8151	E-mail：m-kanemoto@enseikai.com
FAX：042-555-8152	URL：http://www.enseikai.com

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	平成10年に開設した定員150名の特養です。建物の特徴を活かし、25名単位の6ブロック（居住棟）運営を実施しています。「その人らしさを大切に」の法人理念のもと、ご利用者が快適に過ごせるよう自立支援を行っています。
----------------------------	--

<p style="text-align: center;">〈取り組んだ課題〉</p> <p>1. 職員の排泄ケアに対する意識の向上 2. 「人としての尊厳」を尊重したケアの実現</p> <p style="text-align: center;">〈具体的な取り組み〉</p> <p>○ スタッフの「やってみたい」想いを大切にされた施設企画「サービス向上等に資する意欲的企画の取り組み」にエントリーし、「排泄ケアの見直しによる個別ケア」を実践。</p> <p>○ 取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・対象ご利用者の選定（6居住棟横断の人選）</li><li>・トイレ誘導方法の検討（リハビリ・医務との連携）</li><li>・「排泄」にフォーカスした支援プランの作成</li><li>・3ヶ月間の実践とモニタリング</li><li>・職員の排泄に対する意識調査</li></ul> <p>○ 企画メンバーの関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・介助用具や器具に頼らない対応方法の協議、検討</li><li>・支援に携わる職員へ事前周知</li><li>・月2回、企画メンバーによる進行状況の確認</li><li>・企画の成果を報告書として作成</li></ul>	<p style="text-align: center;">〈活動の成果と評価〉</p> <p>○ 今回の取り組みで対象となった方全員がトイレでの排泄が可能となった。</p> <p>○ トイレでの排泄が可能となったことにより、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・尿とりパット内への失禁の減少</li><li>・便秘の緩和</li><li>・皮膚トラブルの減少・改善</li><li>・不快感の軽減</li><li>・ADLの向上</li><li>・尿とりパット使用枚数の減少</li></ul> <p>○ 一日の多くをベッド上で過ごされていた方々が、徐々に離床時間が増え、離床を中心とした生活が送れるようになった。</p> <p>○ トイレで排泄を支援することにより、何よりも「人としての尊厳」を尊重したケアが実践できた。</p> <p>○ 意欲的に取り組みを行うことで、やりがいを持ってケアに実践することができた。</p> <p style="text-align: center;">〈今後の課題〉</p> <p>○ オムツ交換対象者一人ひとりについて、トイレ排泄可能性の再検討。</p> <p>○ 施設全体で取り組めるよう働きかけ、職員全体の意識や技術の向上。</p>
---	--

### 【メモ欄】